平成２２年度

学習状況調査

調 査 結 果 報 告 書

平成２３年３月

秋田県教育委員会

ま　え　が　き

県教育委員会では、平成２２年１２月、小学校４年生から中学校２年生を対象に学習状況調査を実施しました。この調査は、学習指導要領の内容等の定着度を把握し本県が進める少人数学習の成果や課題をとらえ、学習指導の工夫・改善を図るとともに、全国学力・学習状況調査と本調査を活用して、学習指導における検証改善サイクルを確立し、児童生徒の学力向上に資することをねらいとして実施しているものです。

小学校については、第４学年が国語、算数、理科の３教科及び意欲等に関する質問紙調査、第５学年と第６学年が国語、社会、算数、理科の４教科及び意欲等に関する質問紙調査、中学校については、第１学年、第２学年とも国語、社会、数学、理科、英語の５教科及び意欲等に関する質問紙調査を実施しております。

また、本年度の特色として国語と算数・数学のみならず全ての教科で、全国学力・学習状況調査Ｂ問題の出題の意図を踏まえた問題を出題しております。さらに県の課題の改善状況を明らかにするため、複数学年に渡って共通問題を出題いたしました。

このたび、今年度の結果がまとまりましたので、報告書をお届けします。本報告書においては、学習状況調査集計・分析システムで示された各種データに基づき、秋田県全体の学力・学習状況の把握に加え、各教科の結果分析に基づいた授業改善への提言をまとめております。

さて、平成１９年度から、全国学力・学習状況調査が実施されておりますが、本県児童生徒の学力は小・中学校ともに、きわめて良好な状況にあります。この結果は、学校教育を中心に、家庭や地域の教育力及び県内大学からの協力などの成果が総合的に現れたものととらえていますが､学習状況調査の結果活用もその一翼を担っていると考えております。本年度の全国学力・学習状況調査は抽出調査として行われましたが、県内全ての市町村が希望利用方式を活用しました。４月の全国学力・学習状況調査と１２月の本調査を中心とした検証改善サイクルを構築し、各学校における授業改善及び本県児童生徒の学力向上がこれまで以上に図られることを期待しております。

各小・中学校においては、自校の集計結果を分析し、改善策等を検討し、指導方法等の工夫改善にすでに生かしていただいているところですが、積極的に本報告書及び学習状況調査問題を活用し、児童生徒一人一人の学力向上に大いに役立てていただくことを期待しております。

終わりに、本調査研究に御協力いただいた県内全ての市町村教育委員会、各小・中学校に深く感謝の意を表します。

平成２３年３月

秋田県教育委員会